

【11月13日（金）13:00～17:15】

開会挨拶（13:00～13:10）

井上 章一（国際日本文化研究センター所長）

趣旨説明（13:10～13:30）

蘭 信三（上智大学）

基調講演（13:30～14:30）

司会・上田貴子（近畿大学）

陳 來幸（兵庫県立大学）「帝国崩壊後の在日華僑と在日台湾人」

第Ⅰ部会「移動の経験は世代や境界をいかに『越える』のか」（14:45～17:15）

司会・李 洪章（神戸学院大学） コメンテータ：孫 片田 晶（京都大学）

山崎 哲（一橋大学）「中国帰国者アイデンティティは世代を越えるか—三世の語りを中心として」

岡野翔太（葉 翔太）（大阪大学）「民主化後、日本育ちの二世が語る『台湾』」

竹田 響（京都大学）「日本と朝鮮半島に跨る親族の繋がり—在日コリアンからみた『故郷』と『祖国』」

【11月14日（土）13:00～18:15】

第Ⅱ部会「朝鮮戦争—『帝国のはざま』で起きたポストコロニアル戦争」（13:00～15:30）

司会・原 佑介（立命館大学） コメンテータ：高 榮蘭（日本大学）

丁 智恵（東京工芸大学）「朝鮮戦争報道と占領期日本—映像メディアの分析を中心に」

松平けあき（上智大学）「朝鮮戦争におけるマイノリティ兵士の従軍経験—ポストコロニアル戦争を象徴するもの」

原 佑介（立命館大学）「日本語文学に描かれた朝鮮戦争期の朝鮮人越境者—日本人植民者と在日朝鮮人従軍経験者のテキストを中心に」

第Ⅲ部会「引揚げの表象—植民地を故郷とするということ」（15:45～18:15）

司会・坂部晶子（名古屋大学） コメンテータ：西 成彦（立命館大学）

坂 堅太（就実大学）「安部公房『城塞』における満洲表象」

野入直美（琉球大学）「『湾生映画』にみる植民地二世の記憶と表象」

ニコラス・ランブレクト（大阪大学）「李恢成の初期作品を通して引揚げ文学を再考する」

【11月15日（日）13:00～16:45】

第Ⅳ部会「境界を生きる、境界を考える」（13:00～16:30）

司会・八尾祥平（日本学術振興会特別研究員PD） コメンテータ：玄 武岩（北海道大学） 福本 拓（南山大学）

上水流久彦（広島県立大学）「八重山・対馬にみる〈境域〉研究の課題」

朴 裕河（韓国・世宗大学）「越境をめぐる帝国・植民地のジェンダー・ポリティクス—日本人妻とその家族をめぐる」

権 香淑（上智大学）「解放以降における在『満』／在日朝鮮人社会の跨境的諸相—包摂と排除の〈あいだ〉」

泉水英計（神奈川大学）「米国人歴史家の生きた東アジアの境界領域—G.H.カーと台湾・沖縄」

閉会 松田利彦（国際日本文化研究センター副所長）